

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

いちかわ

後援会だより

第34号

事務所 原木 1-22-16

電話・FA X 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

# 新市長に大久保 博氏



## 市長選開票結果

|   |       |   |   |   |   |    |   |
|---|-------|---|---|---|---|----|---|
| 当 | 38620 | 大 | 久 | 保 | 博 | 60 | 無 |
|   | 35132 | 小 | 泉 | 文 | 人 | 36 | 無 |
|   | 34739 | 高 | 橋 | 亮 | 平 | 33 | 無 |
|   | 1579  | 一 | 条 |   | 強 | 36 | 無 |

任期満了に伴う市川市長選挙が十一月二十九日に行われ、実質三人の新人候補者による激しい選挙選が繰りひろげられ、大久保博氏が初当選を果たし、第二十五代(十一人目)市長として、十二月二十五日に就任いたしました。

この度の市長交替に伴い、十二月定例市議会が一月十五日にずれこみ後援会だより恒例の議会報告ができません。そこで今回は新市長の抱負や信篤・二俣地区の課題等を中心に編集し、駅頭配布や集会等での検討資料に利用して頂くこととしました。今回選挙の投票率は二九・六六%、無効票が二、四二三票、内白票が一、五七〇票でした。

## 謹賀新年



皆様には新たな気持ちで平成二十二年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。市議松永おさみもお陰様で元気で新しい年を迎え、今一度初心に立ち戻り、大久保市政のスタートに合わせて、四

十七万都市市川の将来を見据え、併せて地元信篤・二俣地区の抱える諸課題に真摯に立ち向かい、その解決の為地域の代弁者として全力を注いで参ります。年頭に当たり倍旧のご支援をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

# 第25代大久保市長の公約・抱負!

十二月二十五日就任

① 保育所得機児童ゼロを目指す  
現場の実態を見極め、関係者と相談して早く改善できるように努めます。

② 小中学校の給食費無料化を目指す  
現状の給食費は、小学校で約十一億七千万円、中学校で約五億円である。この財源確保を含め意向調査を実施して市民が真に求める施策を取り入れていきたい。

③ 道路交通網の整備を図る  
ア、京成線の地下化を可能な限り促進する。今までの各検討結果を基に事業効果や投資バランスなど、市民を含めたすべての関係者が納得できるように、連続立体化について合意形成を基本に取り組む。  
イ、三・四・十八号線の早期実現を目指す  
平成二十七年完成予定に基づき引き続き取り組む。  
ウ、私道、狭隘道路の解決政策を進める。  
該当する各地に何か所かモデル道路を定めて、名称をつけた道路環境を改善していきたい。

④ 市政戦略室を新設する  
市民の参加を含めて、いちかわ新時代に相応しい市政の実現に向けた行政対応を図っていきたい。

※市民の声を行政に反映させるため

- ア、市長目安箱を設置します。
- イ、市民が求める情報公開の徹底をはかります。
- ウ、財政の健全化を引続き堅持して、市民の期待に応えてまいります。

## 信篤地区のまちづくりを！

市長の交替を機に、私、松永は市議として地元の抱える身近な問題の解決に向け、今年も肅々と真摯に立ち向かってまいります。

- ◎政令指定都市構想は、平成十九年三月の議会決議を重く受け止め船橋市との合併を軸に住民の合意形成を考えます。
- ◎道路交通問題は、各地で山積しています。
- ①外環道路による騒音・振動被害等の対策 ②三・四・十三号の早期着工 ③二俣太鼓橋に係る安全対策 ④信号機の設置・大型車の進入禁止措置等 ⑤通学路・生活道路の安全対策の実施等々
- ◎幼児教育では、公、私立幼稚園の父母負担の格差解消と保育園の待機児童の解消
- ◎高齢者対策では、生きがい、やりがい、働きがいのある環境づくりと田尻老人いこいの家の建替
- ◎緑・公園の増設、スポーツ広場の整備
- ◎真間川・高谷川・二俣川の環境改善
- ◎スポーツ振興では、九月開会の『ゆめ半島千葉国体』に合わせ施設の拡充をはかりたい。

### 退任にあたって 前市長 千葉 光行

新年、あけましておめでとございます。  
このたび、三期十二年にわたり努めました市長職を辞することとなりました。私が長きにわたり市政発展のために邁進できましたのも松永おさみ議員、ならびに松栄会の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年、地方自治に携わられて五十年という、節目の年を迎えられた松永議員におかれましては、これまで市川市のため、また地元である信篤・二俣地区の発展のため、その豊富な知識と経験を遺憾なく発揮しております。  
今年さらなる飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ようやく着工 妙典橋！

長年の懸案でありました市内高谷地区と妙典地区を連絡し、江戸川を跨ぐ仮称妙典橋が、この三月には着工され、平成二十七年途中の完成を目指して工事が進められます。工事着工に先立ち、先般工事説明会が信篤公民館で開催されましたのでその概要をお知らせします。

【橋梁計画】

長さ一六二・五m 幅員十二m(二車線、片側歩道)  
総工費 五十億円で、国と県が半分ずつ負担

現在、高谷側の地権者数名と交渉中とのこと。今後外環道路に接続され、高谷I・Cへのアクセス路として機能します。

併せて、妙典橋から京葉道路原木I・Cに通じる県の都市計画道三・四・十三号(幅員二十m、延長一、六六〇m)の早期完成も待たれます。現在は、産業道路までの用地買収、道路整備が行われていますが、引き続き原木I・Cまでの工事が進められるように県に働きかけてまいります。

なお、この道路は、地元のまちづくりや都市計画さらに下水道整備などのインフラ整備に使われる道路として、大きな影響が生じますので一日も早い工事の着工が待たれます。



### 信篤に初の文学碑

今年四月に完成した原木西浜公園内に、信篤地域で初めての文学記念碑が建立されました。これは、原木西浜環境保全協議会が開園を記念して設置を進めてきたもので、作家宮尾登美子さんの小説『きのね』の主人公『光乃』の父、塚谷清太郎が行徳町原木に生まれた……という記述の一節を石に刻み後世に伝え残そうとしたものです。去る十二月二日に除幕式が行われました。お近くを散策の際は是非ご覧下さい。